



P-SHOOTER (キャブトンスタイル) 取扱説明書

(政府認証品)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。
このマフラーは、長年に渡るモンキー・ゴリラの商品開発で得たノウハウを駆使し設計、製造しております。エキゾーストパイプ、及びサイレンサーには、耐食性に優れている SUS (ステンレス) 材を使用し、マフラー全体にポリッシュ研磨仕上げを行っております。マフラーにはキャタライザーを内蔵し、平成 19 年排ガス規制及び平成 22 年加速走行騒音認証制度も獲得しておりますので一般公道で安心してご使用いただけます。オリジナルマフラーとは異なったサウンドをお楽しみ下さい。
ご使用の際は、この取扱説明書をよくお読みになってご理解した上ご使用して頂きます様お願い致します。

商品番号 : 04 02 0117
適応車種 : スーパーカブ 50
フレーム番号 : AA04 1000001~

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

~ 特徴 ~

オールドスタイル (キャブトンスタイル) に外観を仕上げしております。
オールステンレス製で耐食性に優れております。
政府認証制度獲得品ですので、一般公道で安心してご使用いただけます。

正しく安全にご使用頂くために

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により、事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても、当製品以外の部品の保証はどのような事柄でも一切負いかねます。
製品を加工等された場合や取り付けされた場合は、保証の対象にはなりません。
指定部品以外との組み合わせはご遠慮下さい。
走行中のバンク角には、十分注意して走行して下さい。
このマフラーは AA04 型のスーパーカブ 50 専用となります。C 型 / AA01 型スーパーカブ 50 には使用出来ません。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。
(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
このマフラーは、進行方向に向かって右側から立ち上がっています。エンジン回転中は容易に足などをマフラー方向に近づけない様心掛けて下さい。(火傷の原因となります。)
作業を行う際は、必ず冷間時 (エンジン及びマフラーが冷えている時) に行ってください。(火傷の原因となります。)
規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。)
製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、充分注意して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
マフラーを水洗いする時は、必ず冷間時 (マフラーが冷えている時) に行ってください。(マフラーのヒビ割れの原因となります。)
車両を駐停車させる場合は、歩行者等がマフラー等に接触しない様な場所に止めて下さい。歩行者や走行車両等が邪魔にならない場所に止める様心掛けて下さい。(歩道等に歩行者が歩く方向にマフラーを向けて車両を止めたりすると、歩行者等がマフラーに接触し火傷又は物的損害を被ったり車イスの人が通れなくなる場合があります。)
走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。
(部品の脱落の原因となります。)
加速走行騒音認証制度は、車両がメーカー出荷時の状態で認証を取得しております。エンジンパーツ交換及び改造している車両に取り付け一般公道で使用しないで下さい。(法規適合証明の出来ない車両に取り付けた場合、違法マフラーとみなされます。)

警告 この表示を無視した取り扱いをすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
エンジン回転中は、マフラー出口を絶対のぞかないで下さい。(一酸化炭素中毒、失明等になる恐れがあります。)
走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
走行前に、必ずバンク角のチェックを行い、そのバンク角以上にバンクさせない様な、走行を心掛けて下さい。(転倒につながる恐れがあります。)
エンジン回転中や、エンジン停止後しばらくの間は、エンジン及びマフラーは高温になっています。近くにガソリン等の危険物や燃えやすい物を絶対置かないで下さい。(火災につながる恐れがあります。)
製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。(幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。)
作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。
(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後 1 ヶ月以内を限度として、修理又は交換させていただきます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

～商品内容～



番号	部品名	個数	リペア品番	入数
1	パイプCOMP.	1	18320 A41 T00	1
2	サイレンサーCOMP.	1		1
3	ステー	1	91122 JA2 T00	1
4	エキゾーストパイプフランジ	1	18352 KPH T01	1
5	フランジ六角ボルト 8×16	2	00 00 0039	4
6	エキゾーストパイプガスケット	1	00 01 0107	2
7	ラバープレート 20×80×2	1	00 04 0054	2
8	インシュロックタイ 100mm	2	00 00 0228	10

リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。

尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

～取り付け要領～

STD部品取り外し

1. 水平な場所でセンタースタンドを立て車両をしっかりと安定させます。

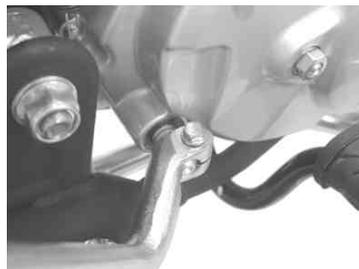
⚠ 警告：必ず水平な場所で車両を安定させる事。

2. 作業に適した工具を用意します。
3. エキゾーストパイプ部のナット2個を取り外します。

⚠ 注意：必ず冷間時であることを確認する事。



4. キックスターアームのボルトを外し、キックスターアームを取り外します。



5. エキゾーストポート部の古いエキゾーストパイプガスケットを外しキット内の新品のエキゾーストパイプガスケットを取り付けます。



マフラー取り付け

1. エキゾーストパイプをシリンダーヘッドエキゾーストポートに差し込みキット内のエキゾーストパイプフランジを使用し、STDナット2個を用いて取り付け、仮締めします。



2. ピボットサイドプレートを取り外します。

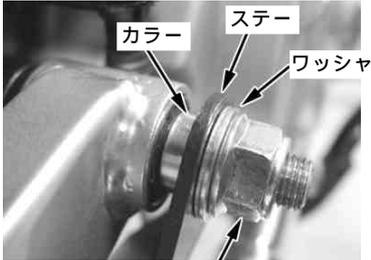


ピボットサイドプレート

3. キット内のステーとサイレンサーCOMP. をキット内のフランジボルト8×16を用いて取り付け、仮締めします。(取り付け時、ステーの長穴のセンター部にボルトを取り付けます。)



4. サイレンサーCOMP.ジョイント部を、エキゾーストパイプストッパー部に当たるまで差し込み、リアアクスルシャフト部に、ステアーを図を参考に取り付け仮締めします。



リアアクスルスリーブナット

5. シリンダーヘッドエキゾーストポート部のフランジナットを規定トルクまで均等に締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：20N・m(2.0kgf・m)



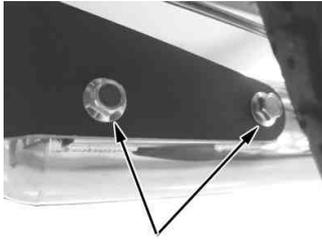
6. リアアクスルスリーブナットを規定トルクまで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：59N・m(6.0kgf・m)



7. ステアー部のフランジボルトを規定トルクまで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：23N・m(2.3kgf・m)

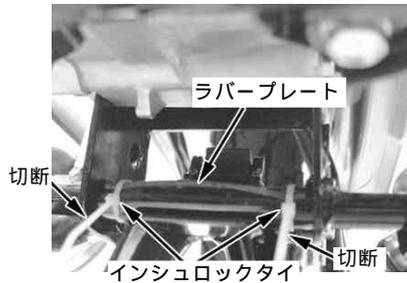


8. キックスターアームを取り付け、ボルトを規定トルクまで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：10N・m(1.0kgf・m)



9. フレームのセンタースタンドストッパー部が当たる部分にキット同梱のラバープレートフレームに貼り付け、両サイドをインシュロックタイでロックし、余った先端をニッパ等で切断します。



10. センタースタンドを下ろし、センタースタンドとサイレンサーとの干渉が無いかを確認します。

11. マフラーに付着した汚れをよく拭き取ります。

12. エンジンを始動させ、排気漏れの有無を確認します。

△警告：必ず換気のよい場所で行う事。

13. 各部をもう1度規定トルクで増し締めします。

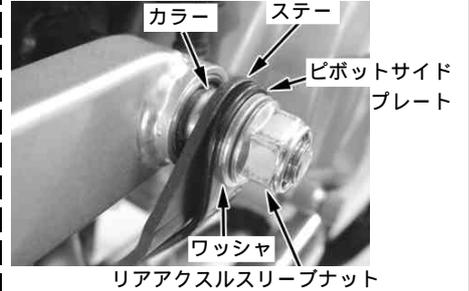
△注意：必ず冷間時に行う事。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

追記

取り外したピボットサイドプレートを取り付ける方は別途、オプションのカラーセットを使用し、マフラーステーの上に取り付け、オプションキット同梱のカラー、ボルトを使用し取り付けます。

カラーセット：00 04 0055



ピボットサイドプレートとフレームの間にカラーを挟み、オプションキット同梱のフランジボルトで締め付けます。

株式会社 **SPECIAL PARTS** 武川
〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号
TEL 0721-25-1357
FAX 0721-24-5059
お問い合わせ専用ダイヤル 0721-25-8857
URL <http://www.takegawa.co.jp>



VIA H450246 - 1/3



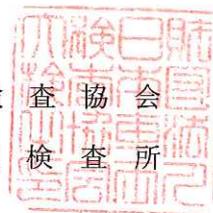
JAPAN VEHICLE INSPECTION ASSOCIATION

平成24年 6月15日

自動車排出ガス試験結果証明書

一般社団法人 全国二輪車用品連合会 展受
(株式会社 スペシャルパーツ武川)

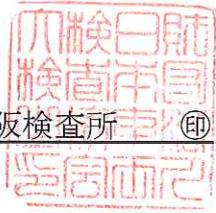
財団法人 日本車両検査協会
大阪検査所



自動車車名・型式 _____ ホンダ ・ JBH-AA04

自動車車台番号 (又はシリアル番号) _____ AA04-1000587

標記自動車について実施した自動車排出ガス試験の結果は別添のとおりです。

二輪車用アイドリング排出ガス試験成績表試験場所: 大阪検査所 

試験年月日: 平成 24 年 6 月 14 日

◎ 試験自動車

車名・型式	ホンダ・JBH-AA04	原動機型式	AA04E	最高出力	2.7/7500 kW/min ⁻¹		
車台番号	AA04-1000587	サイクル	4	気筒	1	総排気量	0.049 L
走行キロ数	11 km	変速機	足動	前進	4 段	使用燃料	無鉛ガソリン
車両重量	95 kg	減速比	3.538				

◎ 排出ガス測定機器排出ガス分析計 アイドリング測定用 (株)堀場製作所 MEXA-7400◎ 試験成績アイドリング測定

測定項目		測定値	
冷却水温度		---	°C
潤滑油温度		92	°C
原動機回転速度		1700	min ⁻¹
測定濃度値 (NDIR)	CO	0.6	%
	HC	564	ppm

◎備考 排出ガス対策装置は、(株)スペシャルパーツ武川製 “JMCA0240008”を装着して、試験を行った。
(依頼者の申請による)

試験車両の写真

車名・型式

ホンダ・JBH-AA04



- ① : センサー類
- ② : 触媒
- ③ : DPF
- ④ : EGR
- ⑤ : 二次空気
- ⑥ : その他

◎備考

(注) 本書(正本)の写しを作成する場合であって、当該写しが正本と相違ないことを証明する必要があるときには、写しにおける本欄に本書(正本)を所用している者が記名及び押印するとともに車台番号を記載して下さい。

この写しは、正本と相違ないことを証明する。

氏名又は名称

印

車台番号

(※)

(※不明な場合には、必要とする自動車が決まった時点で記載する。)

自動車車名・型式 ホンダ・JBH-AA04

排ガス試験成績書番号 H 450246

触媒装置メーカー名 スペシャルパーツ 武川

触媒装置名称 JMCA

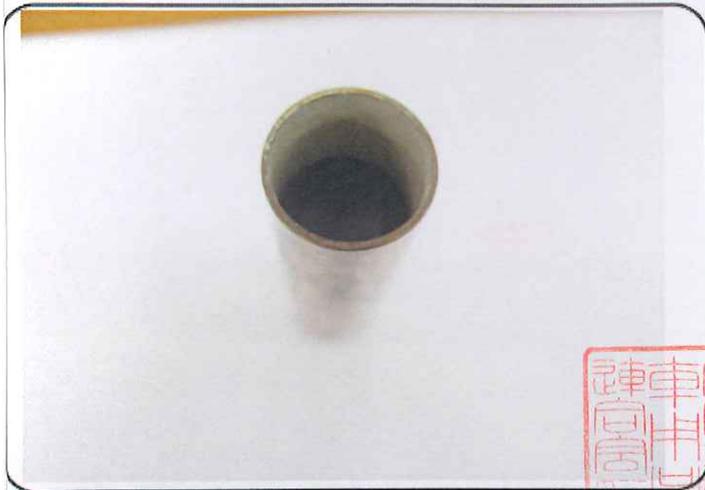
マフラーJMCA認定番号

排出ガス対策装置装着状態確認書

触媒装置装着位置確認図



触媒装置単体写真



目視による排ガス対策装置の確認方法

触媒の寸法 外径: 25.4
長さ: 30



車両装着時写真



全国二輪車用品連合会
〒107-0052
東京都港区赤坂2-19-5
TEL03-5545-7220

